

子どもたちも少しずつ新しい学年・学級に慣れてきました！

保護者のみなさま いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。令和7年度始業式、入学式から一週間が過ぎ、子どもたちは新しい学年や学級の環境にも少しずつ慣れ、落ち着いた表情や笑顔が見られるようになってきました。新しい仲間や先生との出会い、新しい目標へのチャレンジなど、希望に満ちているようです。

8日の始業式では、本校の教育目標「かしこく あたたくく たくましい児童の育成」の「たくましい」児童(向上心をもって課題に粘り強く取り組む姿)に関係した内容を四つ葉のクローバーが生成される要因(実際は、遺伝要因も影響しますが、環境要因のみ)と絡めたお話をしました。クローバーの葉は通常3枚ですが、時には4枚になることがあります。実はその四つ葉のクローバーは、人に踏まれたり、折られたりするような、過酷な環境の中で生まれることが多いそうです。クローバーの小さな芽が過酷な環境で傷ついたとき、自分を治そうとする働きによって、葉が分かれて4枚になるのだそうです。この現象から、「困難を乗り越えることで、より強く、美しく成長できる」ことを子どもたちに伝えました。うまくいかないこと、失敗すること、つまづくこと。それらは決して無駄なことではなく、成長の「栄養」となるものです。子どもたち一人ひとりが、それぞれの「四つ葉のクローバー」のように、困難の中にも希望を見出し、自分の夢や目標に向かって前向きに歩いていってほしいこと、大きな壁にぶつかっても挑戦する前に諦めたり逃げたりしてしまうのではなく、まず自分のできる小さなことでもチャレンジしてみることで、その小さなチャレンジの繰り返しで自分を大きく成長させるのだというメッセージを込めました。

並木小学校では、子どもたちが「たくましい」児童として成長できるよう、教職員一同、子どもたちの可能性を信じ、力強く支えてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

校長 大村 千博



今年度、通級指導教室 こもれび学級が開設されました

今年度から新たに、通級指導教室「こもれび」が開設されました。担任は特別支援コーディネーターの根本教諭です。教室は、1年1組の隣にあります。

通級指導教室とは、学習や生活に一部苦手さや困難さを抱えているお子さんに対し、苦手さや困難さを改善する(うまくいくコツを身に付ける)活動を行う教室のことで、

大抵のことは友達と同じように取り組めても、一部苦手さや困難さを抱えているために、何事にも自信がもてないお子さんが「うまくいった！」「なるほどそういうことか！」という実感をもつことで自信をもって学校生活を送れるようになることを目的として指導を行います。例えば・・・

(お子さんが抱える困り感と、改善を図る活動の一例)

- 黒板の文字を板書することが苦手。→目の動かし方を練習(ビジョントレーニング)して、視写の力を高める。
- 友達とのコミュニケーションが上手にとれない。→ソーシャルスキルトレーニングを通してコミュニケーションを図る練習を行う。
- 忘れ物が多くて、授業に支障が出てしまう。→メモの取り方等、自分に適した忘れ物をしない方法を担当教員と一緒に考える。
- 漢字がなかなか覚えられない。→本人にとって覚えやすい方法を担当教員と考える。



前述した内容は、活動例の一部です。活動内容は、お子さんの主訴や特性によって担当教員が本人、保護者と共に考えていきます。お子さん一人一人に合わせたオーダーメイドの指導です。

今年度初めて開設されたので、不明な点も多いかと思いますが、通級指導教室についてご質問・ご相談がありましたら、どうぞお気軽に学級担任または支援担当までご連絡ください。